



身障秋田

発行人/社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会・会長 藤井宏一
事務局/秋田市旭北栄町1-5
TEL (0188) 64-2780・64-2781/平成9年10月1日発行

第42回 日本身体障害者福祉大会 新潟市で開催

第四十二回日本身体障害者福祉大会が新潟市で、六月四日(水)関係者五千人が参加して盛大に開催された。

秋田県から藤井会長をはじめ「身障のつばさ」の皆さんを合わせ四十二人が参加した。福祉大会は、新潟市の新潟市産業振興センターで開催され、初めに、身体障害者福祉に貢献された五十一名の方々に村谷会長から表彰状が贈呈された。

新潟県知事をはじめ厚生・労働・文部各省の来賓からの祝辞の後、大会宣言及び決議を採択して大会を終了した。

次回の大会は、奈良県で開催される。なお、大会前日の代表者会議で採択された平成九年度の要望事項は、次の通りである。

総理府

一、障害者対策に関する新長期計画の具体的促進を図るため「障害者プラン」が策定されたが、すべての市町村が「障害者施策推進協議会」を設け「市町村障害者計画」を策定するよう強力に指導すると共に、当該プランが速やかにかつ着実に推進されることを要する。

大蔵省

一、寄付金の損金算入の対象範囲を、社会福祉事業を行う社団法人、財団法人にも適用するよう税制を改正された。

二、身体障害者用自動車にかかるガソリン税、消費税の減免措置を図られた。

文部省

一、ノーマライゼーション思想の普遍化を目指し、義務教育カリキュラムに身体障害者福祉を取り入れ、今後における身体障害者の社会参加の促進に寄与された。

厚生省

(障害保健福祉部)
一、障害者対策に関する新長期計画の具体的促進を図るため「障害者プラン」が策

定されたが、すべての市町村が「障害者施策推進協議会」を設け「市町村障害者計画」を策定するよう強力に指導すると共に、当該プランが速やかにかつ着実に推進されることを要する。

二、各地方公共団体に「福祉のまちづくり条例」の策定を指導し、道路、建築物、交通機関、通信等障害者や高齢者に優しい環境整備の促進を図られた。

三、「障害者プラン」を確実に具現化して行くためには、市町村の役割は極めて重要であり、また障害者福祉行政の市町村への委譲にあたっては行・財政面での強化に十分配慮する必要があるが、市町村の障害者問題への意識の差、財政力の差など地域格差の是正に取り組みされたい。

四、障害者の社会参加促進を図るため、各都道府県・指定都市に障害者リハビリテーションセンターを設置するよう指導し、地域リハビリテーションの充実を図られた。

五、自助具、義足等福祉機器の研究開発を進めるため、研究機関を有効に活用し、研究成果を速やかに製品化し、給付対象品目に加えられる。

六、災害時の「緊急通報システム」を充実するため、障害者名簿の整理作成、避難対策、補装具や医薬品の備蓄等障害者の防災対策の強化を図られた。

七、身体障害者授産施設の場合場を促進するため、中心的施設にたいする財政的支援の充実を策定された。

八、難聴者・中途失聴者の「コミュニケーション」の手段としての口話を習得する為のメニューを障害者の明確に促す事業に組み込まれた。

九、身体障害者手帳はカード方式に改め、災害救助センターを組み込んだものに改められた。

十、次の身体障害者等級の見直しを図られた。

1 喉頭摘出者 一種二級
2 一眼失明者 身体障害者としての認定を
3 人工肛門造設者 身体障害者としての認定を
4 音声・呼吸器・臭覚の三障害者 一種二級に
5 内部障害者 二級の制度を設ける

十一、在宅酸素療法をうけている呼吸障害者に、安全、簡単に一日数度の測定ができ、体調の変化が直ちに把握できるパルスオキシメーターを医師が必要と認められた者に一台ずつ貸与し、在宅医療の安全化を図られた。

十二、あん摩マッサージ指圧はり、きゅうを浸透しているカイロプラクティック・整体等と称する類似行為の排除、規制を強化すると共に、公的介護保険法立法にあたり、介護サービスの業務の中に、高齢者の保健と介護人の疲労回復にあん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの施術を加えていただきたい。

十三、身体障害者相談員並びに手話通訳、点訳、歩行訓練士等、特殊技能者の処遇向上と身分制度の確立を図られた。

十四、在宅重度障害者支援のため、介護ヘルパー制度等の充実とテクニカルボランティアの養成を図られた。

十五、生活福祉資金貸付制度の最高限度額を生業費八百万円、住宅資金五百万円に引き上げると共に、償還期間を各十年に延長し、貸付金利を一・五%に引き下げられた。

十六、都道府県において、医療費窓口無料化が実施できよう、国において「公費負担制度の創設」を行われたい。

十七、障害基礎年金を一級十万円、二級七万五千円以上にまた、特別障害者手当等の大幅な増額を行うと共に、受給資格の拡充と所得制限の緩和を図られた。

運輸省

一、JR等鉄道運賃の割引きについて、障害者が利用する場合の片道百キロ制限を往復百キロに改善すると共に、新幹線を含む特急・急行料金についても割引き対象に加え、また、介護者の入場料を免除するよう指導された。

二、航空運賃の割引き率を五割に引き上げられた。

三、駅舎エレベーターの設置や、リフト付き路線バスの普及等公共交通機関に配慮した、住みやすいまちづくりの促進を図られた。

四、JRのジパン倶楽部の入会資格年齢を男五十歳、女四十五歳に引き下げるよう指導された。

五、身体障害者が所有する車の購入時及び車検時の重量税を免除された。

郵政省

一、一般テレビ放送(地上波放送)は、手話、字幕付き番組が極めて少なく、聴覚障害者が社会参加や生活に必要な生活関連情報、娯楽情報等が得られない実情にある。

二、聴覚障害者が公共施設等から気軽に家庭などに連絡できるよう、二十四時間対応の公衆福祉ファクシミリを設置された。(JR駅構内、代表交番等)

三、障害者福祉行政の市町村への権限委譲が進められており、市町村の役割はより重要になりつつあるが、市町村の財政力は地域格差が大きく、全国均一な福祉施策を実施するには地域格差の解消が必要不可欠であるので、これが是正不可欠の特段のご配慮をお願いしたい。

四、障害者に対する住民税の障害者控除額の引上げと固定資産税の減免措置を講ずると共に、身体障害者用自動車の購入にかかる自動車税の減免を図られた。

一、平成三年高齢者対策として地域福祉基金が設けられたが、障害者基本法に改正され障害者プランが策定された今日、障害者福祉基金の障害者対策への活用について、徹底を図られた。

二、各県、市町村に厚生省、建設省で進められている「福祉のまちづくり」について、条例制定の促進を図ると共に、道路、建築物、交通機関、通信等障害者、高齢者に優しい環境整備の促進を指導された。

労働省

一、障害者の一般企業への就業は企業の理解不足もあり困難な状況にあるが、障害者の福祉的就労の場である小規模作業所、授産施設、福祉工場などでは、障害者の能力適性に応じた製品の種類が少なく、かつ不況の影響も受け受注が減少している実情にあるので、各企業に対し製品の発注を積極的に行うよう指導された。

二、障害者の雇用、就労の促進充実を図るため、障害者雇用促進法、職場補助者制度等関係諸制度の充実拡大を図られた。

建設省

一、各県、市町村に「福祉のまちづくり条例」を制定するよう指導し、道路、建築物、交通機関、通信等に高齢者や障害者に優しい環境整備の促進を図られた。

二、障害者に対する有料道路通行料金の割引きについて、障害者団体が利用する福祉バス、貸切りバス、マイクパス等にも適用範囲を広げると共に、障害者の社会参加を促進するため、普通者を含む障害者が同乗し介護ボランティア等が運転する車両にも適用された。

自治省

一、平成三年高齢者対策として地域福祉基金が設けられたが、障害者基本法に改正され障害者プランが策定された今日、障害者福祉基金の障害者対策への活用について、徹底を図られた。

二、各県、市町村に厚生省、建設省で進められている「福祉のまちづくり」について、条例制定の促進を図ると共に、道路、建築物、交通機関、通信等障害者、高齢者に優しい環境整備の促進を指導された。

三、障害者福祉行政の市町村への権限委譲が進められており、市町村の役割はより重要になりつつあるが、市町村の財政力は地域格差が大きく、全国均一な福祉施策を実施するには地域格差の解消が必要不可欠であるので、これが是正不可欠の特段のご配慮をお願いしたい。

四、障害者に対する住民税の障害者控除額の引上げと固定資産税の減免措置を講ずると共に、身体障害者用自動車の購入にかかる自動車税の減免を図られた。

一、音声信号機設置場所の周辺住民に対する騒音対策として、視覚障害者が利用するときだけ視覚障害者の遠隔操作により音声がかかるような信号機に全国統一されたい。

二、各県、市町村に「福祉のまちづくり条例」を制定するよう指導し、道路、建築物、交通機関、通信等に高齢者や障害者に優しい環境整備の促進を図られた。

警察庁

一、音声信号機設置場所の周辺住民に対する騒音対策として、視覚障害者が利用するときだけ視覚障害者の遠隔操作により音声がかかるような信号機に全国統一されたい。

県協会 平成九年度事業

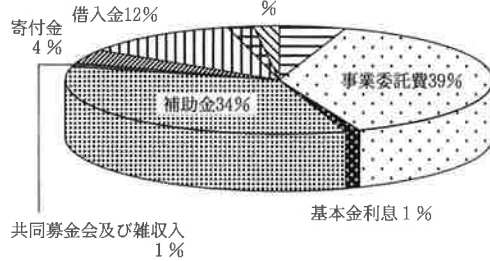
平成九年度の秋田県身体障害者福祉協会の予算が、三月の理事会及び評議員会で承認されました。協会の事業は、本部予算と公益事業特別会計に別れており、その総額は、約八千五百七十七万円となっております。

今年度も六カ月を経過し、身体障害者福祉大会や身体障害者体育大会などの主な事業は終了しております。これからは、大阪府で開催される全国身体障害者スポーツ大会への参加などまだ幾つか残っている事業について進めることとなりますが、特に重点的に取り組まなければならない事業として、今年度新たに県から委託された「障害者福祉ガイドマップ」の作成の事業があります。

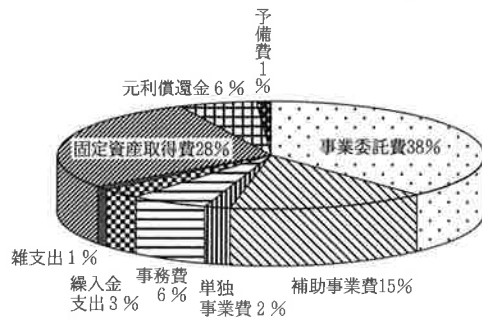
この事業は、県内の六十九市町村のすべての街の道路や建物などの調査が必要であり、現地実行委員の設置など協会の皆さんの協力は是非とも必要でありますので、ご協力方よろしくお願ひします。

平成九年度の予算内容及び事業の概要は、次のとおりです。

収入



支出



収入

項目	金額	説明
負担金	3,928,200円	市町村協会負担金
事業委託費	33,421,388円	県よりの委託事業費
基本金利息	1,036,000円	一億円基金より
補助金	28,961,840円	県、市町村及び中央競馬場主会より
共同募金会	196,000円	
寄付金	3,826,502円	一般及び指定寄付
借入金	10,000,000円	施設の作業棟増築分
緑入金	1,932,000円	施設建設費の償還金の緑入れ
前期繰越金	1,839,129円	
雑収入	16,000円	預金など

支出

項目	金額	説明
委託事業費	32,221,116円	委託の5事業分
補助事業費	13,167,632円	全国スポーツ大会派遣など
単独事業費	1,806,230円	広報紙・役員研修費
事務費	4,909,000円	人件費・役員会費
緑入金支出	2,469,640円	職員退職積立金
雑支出	582,000円	事務室管理費・団体負担金など
固定資産取得費	23,929,702円	作業棟(増築分)取得費
元利償還金	4,948,800円	施設建設費の償還
予備費	1,122,939円	

第十六回 秋田県身体障害者福祉大会

七月十一日・秋田県民会館

第十六回秋田県身体障害者福祉大会が七月十一日(金)秋田県民会館において関係者一千人が参加し、盛大に開催された。

第一部は、藤井大会運営委員長及び佐々木県福祉保健部長からの挨拶の後、長年にわたり自らの障害を乗り越え、自立更生された方々並びに障害者及び団体の育成に功績があった人に対する知事及び協会長表彰が行われた。また、二十年以上にわたり県協会の役員として活躍され、この度、すべての役を退かれた横手市の小原次郎氏に協会長より顕章が贈られた。

第二部に入り、山本町の小山内七右衛門さんから「毎日が忍耐の生活」、男鹿市の鈴木泰昭さんから「働ける喜び」、田沢湖町の高橋保生さんから「盲導犬とともに」と題して、それぞれ素晴らしい体験発表が行われた。このあと、大会宣言及び大会決議案が提案され、満場の皆さんの賛成で承認され、大会は予定通り無事終了した。

大会決議

障害者が、地域社会や家庭で安心して生活できる環境の整備や年金、保健医療など障害者福祉をめぐる課題は多く、また新しい時代に対応する福祉の確立も望まれている。私たち障害者は、より一層団結を図り、豊かさの実感できる福祉社会の実現を目指して、この大会において次のことを決議する。

- 一、障害者の自立を促進するため、社会福祉参加活動を積極的に展開する。
- 一、障害者の住みよい地域福祉づくりに、自ら積極的に参加する。
- 一、障害者を取りまく社会情勢の変化に対応し、自ら生きがいとしあわせのために積極的に努める。
- 一、全障害者を地域の身体障害者協会に入会させるために一人一人が努力する。

好天に恵まれた 秋田県身体障害者体育大会

今年で三十五回を迎えた秋田県身体障害者体育大会が八月三十一日(日)、秋田市八橋陸上競技場を主会場として開催された。

清々しく晴れ渡った秋空のもとの開会式は、秋田県警察音楽隊のカラーガードを先頭に、前年度総合優勝の秋田市チームをトップに二十八チーム、六百六十六名の選手が堂々たる行進の後、今年大阪府で開催される全国身体障害者スポーツ大会に秋田県代表として参加する県立ろう学校の中川真吾選手によって聖火が点火された。寺田秋田県知事の挨拶に続いて、大会に出席された多くの来賓を代表して秋田県議会議長並びに秋田県市長から祝辞があり、また、参加選手を代表して湯沢市の工藤

定昭選手から「希望と勇気をもって精一杯競技することを目指します」との力強い宣誓があった。開会式を無事に終了し、午前十一時から競技が開催された。競技は、十九の障害区分により、トラック競技九種目、跳躍競技四種目、投てき競技三種目、卓球競技二種目に別れて、日頃の練習の成果を競い合った。

好天に恵まれ、選手の皆さんのハンデを乗り越えて、果敢に競技に挑戦する姿に対し、スタンドから惜しみない大きな声援が送られた。午後三時頃、プログラムの最後を飾る郡市対抗リレーが大々声援の中で行われ、男子は、鹿角・北秋田郡、女子は、平鹿郡チームがそれぞれ優勝した。集計の結果、総合優勝には、昨年に引き続き秋田市チームに輝きました。成績は次の通りです。

- ◇総合優勝 秋田市(一九九点)
- ◇総合第二位 由利郡(二〇〇点)
- ◇総合第三位 鹿角・北秋田郡(八四四点)
- ◇郡市対抗リレー 男子の部 優勝 鹿角・北秋田郡(六三秒〇〇) 女子の部 優勝 平鹿(八七秒二)
- ◇個人賞 秋田県身体障害者福祉協会会長賞 石塚 健 (男子三段跳・ろう学校) 大石 真由美 (女子砲丸投・仙北郡) 秋田県障害者雇用促進協会会長賞 野呂 博 昭 (男子砲丸投・北秋田郡)

身障青年交流の輪を広げるついで

全県から男性十八名、女性七名合計二十五名が参加して今年度より「身障青年交流の輪を広げるついで」が秋田市の太平リゾート公園において八月二十三日・二十四日の二日間わたって開催された。

初日は、午後六時集合で、公園内の「ピクニックの森」で、夕食のバーベキュー大会でその幕を開いた。当日は、生憎の曇り空でしたが、皆で苦心して火を起こしたり、風よけのためタープを張ったり、飲み物を冷やすための水をリヤカーでサイトまで運んだり、日ごろ経験することのない作業をお互いに力を合わせて準備し、お陰でバーベキュー大会は最高の盛り上がりとなった。

自己紹介したり、おしゃべりをしたり、楽しい夕食の後には、「森林学習館」に会場を移して、ゲームを主体とした交流会で賑やかな夜のひとときを過ごした。二日目は、会場を「下北地域センター」に移し、新しいスポーツである「スマイルリング」に挑戦し、新しいに頑張り、失敗し、心地よい汗と笑いに満ちた時間を過ごした。

つどいは、正午に終了し、来年の再会を約して解散をした。参加人員に制限がありますが、来年も多くの青年部の皆さんの参加を期待したいものです。また、青年部の皆さんから県北または県南地区でも開いてほしいとの要望があり、集いの内容も含め参加される皆さんに喜んでいただける交流会になってほしいものと事務局では思っています。

障害福祉課からのお知らせ

障害福祉課では、秋田県身体障害者福祉協会に社会参加促進事業の多くを委託しておりますが、委託事業以外下記の事業も行っていますので、希望の方は市町村役場又は福祉事務所に問い合わせください。

- 1、身体障害者が住宅や居室を増改築する経費に対する助成
(取り扱いは、市町村役場)
①対象者
肢体不自由者(一級〜三級、但し三級は車椅子使用者のみ)
②負担金
・市町村民税非課税の方 本人負担0円
(県2/3・市町村1/3ずつ負担)
・所得税非課税の方 県1/3・市町村1/3
3・本人負担1/3
- ③補助基準額
一戸 五十万円
④年間三十戸へ補助
⑤居室建設
⑥対象者
・下肢・体幹に障害を有する者(一級〜二級)
・所得税非課税の方
⑦本人負担 1/3(県1/3・市町村1/3)
⑧補助基準額 一、五八四千円
⑨補助戸数 年間一戸
- 2、自動車改造にかかる経費への助成
(取り扱いは、市又は県福祉事務所の 下肢又は体幹機能)
- 3、自動車運転免許の取得に要する費用の一部に対する助成
①助成額 一三二千元
②対象者
肢体不自由者で秋田県公安委員会の行う身体障害者運転適格検査の結果、適格と認められたもののうちで条件を付けられた人。
また、運転免許の取得による職場復帰、社会復帰等の促進又は所得の向上により、その更生が見込まれる方。
③秋田県身体障害者更生相談所(0188-2311637)で相談を受けています

福祉大会表彰者

- 平成九年七月十一日(金)第十六回秋田県身体障害者福祉大会において、障害者を克服し、立派に社会で活躍し、他の模範と認められた方々並びに永年障害者団体の育成、強化に努力し、障害者の福祉向上に功労のあった次の方々がそれぞれ受賞されました。
- 秋田県知事表彰
自立更生者
高橋 和子 秋田市
佐藤 アサ 森吉町
袴田 一男 山本町
長沼兼一郎 河辺町
小泉 清助 西仙北町
滝 恭三 稲川町
団体育成功労者
持田 政雄 秋田市
豊嶋 祥嗣 秋田市
今野 勝蔵 能代市
針金信次郎 横手市
- 皆川 サタ 雄和町
長谷川喜一 金浦町
高橋 薫 中仙町
丹 勇之助 雄物川町
柴田久太郎 大森町
阿部 利男 皆瀬村
自立更生功労者
古川幸太郎 秋田市
- 山崎 豊吉 鹿角市
阿部 哲男 鹿角市
藤田 重蔵 鹿角市
目時 健一 大館市
渡部 由衛 大館市
富樫 チョ 大館市
船木 清 能代市
大川喜太郎 秋田市
川村善一郎 秋田市
- 小助川 久 本荘市
齊藤 ふみ 本荘市
山崎 健司 大曲市
池田千代司 横手市
松井 イナ 横手市
一関 洋 横手市
白澤 太吉 森吉町
成田 粕三 八森町
土佐 節郎 藤里町
齊藤 輝雄 峰浜村
久保トミエ 五城目町
藤原 トリ 天童町
伊藤 フメ 井川町
加藤 義一 象潟町
深澤 清一 千畑町
伊藤 正一 千畑町
伊藤 作蔵 仙南村
久保 和子 増田町
菅原正之助 平鹿町
井川頼三郎 雄勝町
顕彰
小原 次郎 横手市

「障害者福祉ガイドマップ」の作成にご協力を!

秋田県では、平成九年度事業として「障害者福祉ガイドマップ」を作成することになり、その事業を当協会に委託されました。

障害者福祉ガイドマップは、平成元年に県社会福祉協議会が県の委託を受けて作成しておりますが、今年度は、市部だけでなく六十九市町村すべてのガイドマップを作成することに、今、当協会での準備を進めております。

ガイドマップの作成に当たっては、市町村の道路や建物などを実際に調べる必要があり、市町村身体障害者協会(協議会)のご協力を頂き、現地実務員会を設置し、調査をお願いします。

この事業に関係する会議を、次のように開催することにしておりますが、現地調査等、皆様に協力をお願いした時には、よろしくお願いたします。

身体障害者福祉関係事業連絡会議
・県北地区
十月二十二日(水) 鷹巣町 ホテル松鶴
・中央地区
十月十六日(木) 秋田市 平安閣
・県南地区
十月十七日(金) 横手市 松興会館

なお、障害者福祉ガイドマップは、年度内に完成し、関係者に配布する予定にしております。

「ふれ愛」ツク大阪(第三十五回全国身体障害者スポーツ大会)十一月二、三日に開催

今年で三十三回目を迎える身体障害者スポーツ大会が十一月二日(日)〜三日(月)の二日間、大阪市のスロガンは、「ときめいて今、はばたい未来」であり、本県の十二名の選手が十分に発揮して、はばたいと思っています。出場選手及び出場種目は、次の通りです。

・中川 真 吾(秋田市)
四〇〇m走、一〇〇m走
・石塚 健(秋田市)
走幅跳、三段跳
・野呂 博 昭(鷹巣町)
・野呂 博 昭(鷹巣町)
砲丸投、走幅跳
・沼倉 正 美(東成瀬村)
立幅跳、ソフトボール投
・島山 照 幸(岩城町)
ソフトボール投、卓球
・伊藤 義 久(大森町)
一〇〇m走、走幅跳
・山内 久(岩城町)
ソフトボール投、砲丸投
・大石 真由美(田沢湖町)
ソフトボール投、砲丸投

県内手話通訳者一覧

県	平川 信夫	秋田県身体障害者福祉協会 〒010 秋田市旭北栄町1-5	FAX 0188-64-2781 ☎ 0188-64-2780
県	神谷 美幸	秋田県平鹿福祉事務所 〒013 横手市旭川1-3-42	FAX 0182-32-3369 ☎ 0182-32-3294
県	佐藤 正子	秋田県北秋田福祉事務所 〒018-33 鷹巣町鷹巣字東中岳76-1	FAX 0186-62-0294 ☎ 0186-62-1275
県	佐藤 ゆかり	秋田県秋田福祉事務所 〒010 秋田市山王4丁目1-2	FAX 0188-60-3355 ☎ 0188-60-3352
県	今野 めぐみ	秋田県由利福祉事務所 〒015 本荘市戸町字水林366	FAX 0184-22-6975 ☎ 0184-22-5434
市	仲村 多雅枝	秋田市社会福祉協議会 〒010 秋田市八橋成川原2-1	FAX 0188-63-6068 ☎ 0188-62-7445
市	高橋 美樹子	秋田市社会福祉協議会 〒010 秋田市八橋成川原2-1	FAX 0188-63-6068 ☎ 0188-62-7445
市	藤田 美紀子	秋田市福祉事務所 〒010 秋田市山王1-1-1	FAX 0188-63-6362 ☎ 0188-66-2093

- 石山 久美子(秋田市)
砲丸投・ソフトボール投
菊地 京子(秋田市)
六〇m走・卓球
- 高橋 律子(大曲市)
立幅跳・ソフトボール投
鶴田 京子(平鹿町)
立幅跳・ソフトボール投
- ### 各地区身体障害者福祉大会(案内分)
- ◎七月十六日(水) 大曲市障害者福祉大会 大曲市中央公民館
 - ◎七月二十三日(水) 仙北郡身体障害者福祉大会 仙南村公民館
 - ◎七月二十七日(日) 秋田市身体障害者福祉大会 秋田市社会福祉協議会
 - ◎七月三十日(水) 南秋田河辺郡身体障害者福祉大会 河辺町民体育館
 - ◎八月七日(日) 北秋田鹿角郡身体障害者福祉大会 湯沢雄勝広域交流センター
 - ◎九月四日(水) 上小阿仁村健康増進トレーニングセンター
 - ◎九月九日(水) 平鹿郡身体障害者福祉大会 雄物川町コミュニティセンター
 - ◎九月十六日(水) 山本郡身体障害者福祉研修大会 八竜町農村環境改善センター
 - ◎九月二十六日(金) 湯沢市雄勝郡身体障害者福祉大会 湯沢雄勝広域交流センター

輝く市民の誓い

秋田市 岡村 由枝

十四歳の秋、頭が痛くなり、一瞬の内に意識を無くし、気がついた時は病院のベッドで、流行性急性脊髄脳炎による左半身マヒでした。あまりの情けなさに、どう生きていけばいいかと悩み、このまま、死んでやると、母を困らせたものでした。そんな時に、盲腸も手術。酸素吸入に気づいても、体のあちこちが苦しく、言うに言われぬつらさを覚えました。

懸命の看護のおかげで、どうにか、快方に向かい、足にギブスで、リハビリに励み、マッサージの効果で少しずつ歩けるようになりました。中学の卒業式も、病院からの出席でした。入、退院の繰り返しで、いろんな人と会い、温かい励ましを受けました。やっと、退院もでき、親の勧めで、測量を学び、社会に出るまでになり、事務や、タイプの仕事もやりました。

優しかった母もなくなり悲しみを忘れ仕事に頑張りました。あきらめなかった結婚も知人の紹介でできました。丈夫と思っていた夫が仕事を休みがちになりまして、経済的にも苦しくなり、食事もラーメン、貯金箱には一円玉だけ、それを握りしめて買い物ということも続き、それでも、二人で頑張らねばと心に誓い、励んだので、ようやく、資金のメドもつき、身内の援助もあって中華の店を開店することができました。

私も、手助けにと、車の免許に挑戦、四十歳で合格できました。お陰で、いまでは、大住牛馬協会の役員研修に、車で参加でき、また、ワープも勉強し、賀状、名簿作りに活用しています。私が、病気で一番心に残ったことは、命の尊さ、大切さでした。人に勝つことより、自分に負けない人生を、豊かな心、明るい笑顔で生き抜くことが、お世話になった方々へのお礼と考えております。

(秋田市身障福祉大会より)

障害者と県民の

「ふれあいフェスティバル」

九月二十八日(日)社会福祉会館で盛大に開かる

社会福祉会館が昭和六十一年に開館して十一年目、また、障害者団体が入居して十年目を迎えたのを記念して、障害者と県民のふれあいの機会を作ろうと障害者七団体が主催して、九月二十八日(日)「ふれあいフェスティバル」が社会福祉会館及び心身障害者福祉センターを会場に開かれました。

開会のセレモニーでは、実行委員長の大島卓車いす連合会長から「障害者と県民のふれあいの場を、今回の開催を契機に発展させていきたい」との力強い挨拶があり、関係者によるテープカットが行われ、「ふれあいフェスティバル」がスタートした。

参加した団体は、聴力障害者協会、肢体不自由児者父母連合会、喉頭摘出者団体「秋笛会」、難病団体連絡協議会、腎臓病患者連絡協議会、視覚障害者福祉協会、車いす連合会、身体障害者福祉協会の八団体で、ミニ手話教室や展示パネル、野菜の販売のほか、盲人卓球や車いす体験コーナー、カラオケ、マジックショーなどの盛沢山の催しや会員の活動紹介などがボランティアの皆さんの協力のもと行われ、社会福祉会館には、終日沢山の人が訪れ、「ふれあいフェスティバル」は、好評のうちに終了した。

協会からのお知らせ

保養施設
「海の家」
「山の家」
ご利用下さい

身体障害者の健康の増進、教養の向上、レクリエーションなど健全な保養・休養を得ることに、福祉の増進を図ることを目的に保養施設を利用される方に、宿泊一人千円、日帰り一人四百円を助成しております。平成九年度の県内契約施設は、下記の十五施設で、下記のご活用下さい。

「身体障害者「ハンク倶楽部」について

一般の高齢者より男女とも五才若く入会できる「身体障害者ジャパング倶楽部」(男性満六十才以上、女性満五十五才以上)が昭和六十二年から設けられました。

特典は、JRの身体障害者運賃割引のほか特急・急行・グリーン券・座席指定券が利用回数三回までは二〇%、四回から二回は二〇%、四回から二回は二〇%割引引き(更新後は、すべて三〇%割引)になります。会員としての有効期間

平成9年度海の家・山の家開設施設

番号	施設名	住所	電話番号	料金	
				料(単位別)	日帰り
1	志張温泉ホテル	018-51 鹿角市八幡平字功留平11の11	0186-31-2246	9,214円より	400円より
2	大館市立老人福祉センター	017 大館市雪沢字大滝66	0186-50-2031	5,100円より	700円より
3	丸富ホテル	018-23 山本郡山本町森岳字木戸沢115	0185-83-2311	10,000円より	720円より
4	国民宿舎「男鹿」	010-06 男鹿市北浦湯本字中里21の19	0185-33-3181	5,410円より	970円より
5	男鹿簡易保険保養センター	010-05 男鹿市船川港台島字鶴の崎62の2	0185-23-2611	7,300円より	部屋代3,090円より
6	セイコーランドホテル	010-06 男鹿市北浦湯本字草木原50の1	0185-33-2131	10,000円より	1,800円より
7	五城目町保養センター「忍地山荘」	018-17 南秋田郡五城目町馬場日字十二の台23の8	0188-53-2014	4,900円より	700円より
8	赤倉山荘	018-18 南秋田郡五城目町富津内中津又字滑多羅3の7	0188-54-2969	6,000円より	1,800円より
9	関谷山荘 貝の沢温泉	010-11 秋田市太平山谷貝の沢66の96	0188-38-2237	6,000円より	830円より
10	旅館「角水」	014-14 大曲市角間川町四上町88	0187-65-2156	6,120円より	210円+部屋代より
11	国民宿舎「駒草荘」	014-12 仙北郡田沢湖町生保内字駒ヶ岳2の1	0187-46-2101	6,120円より	820円より
12	構手駅前温泉 ゆうゆうプラザ	013 構手市駅前町7の7	0182-32-7777	11,000円より	600円より
13	相野々温泉国民保養センター「鶴ヶ池荘」	019-11 平鹿郡山内村十洲字鶴ヶ池24の2	0182-53-2131	6,100円より	700円より
14	小安観光ホテル「鶴泉荘」	012-02 雄勝郡皆瀬村畑等字湯元41	0183-47-5011	10,000円より	300円+部屋代より
15	秋田県身体障害者福祉センター「福寿荘」	019-03 雄勝郡雄勝町秋の宮湯1182	0183-56-2202	4,500円より	600円より

は一年間で更新ができます。入会及び更新のご希望の方は、郡市身体障害者協会にある入会・更新申込書に記入の上(新規に入会の場合)、身体障害者手帳の写真を添付(それぞれ千円を添え身障者福祉協会に申し込んで下さい)。

「手帳入りビデオの活用」
聴力に障害のある方のために

役員研修会
十二月三日 大瀧村で

平成九年度役員研修会を十二月三日(水)・四日(木)の二日間、大瀧村「サンルーラル大瀧」で開催します。研修会の日程及び内容については、近く通知いたします。

福祉展 出展作品募集

障害者週間(十二月三日から九日まで)の事業として、十二月九日の「障害者の日」を含めた三日間にわたり、「秋田県障害者福祉展」を秋田県社会福祉会館において開催する予定です。募集する作品は、在宅及び施設を利用して障害者が作成した書、絵画、陶芸品、民芸品、手芸品、写真などで、優秀な作品は表彰します。また、作品の展示のほか、障害者施設利用者による「お点前披露」や「福祉機器の展示」障害者のための「相談コーナー」の設置や障害者施設で製作した工芸品や野菜を販売する「即売コーナー」も併設する予定にしております。詳しくは、秋田県身体障害者福祉協会事務局にお問い合わせ下さい。

障害者福祉団体関係

◎事務局の変更
障害者団体の事務局が、次のように変わりました。
☆秋田県腎臓病患者連絡協議会
秋田市旭北栄町一〇五
秋田県社会福祉会館三階
電話・FAX
〇一八八(二三)六二一〇

☆秋田県難病団体連絡協議会
秋田市旭北栄町一〇五
秋田県社会福祉会館三階
電話・FAX
〇一八八(二三)六二二三

☆日本オストミー協会秋田県支部
秋田市旭北栄町一〇五
秋田県心身障害者福祉センター内
電話・FAX
〇一八八(六四)二七八三

◎主要事業
秋田県視覚障害者福祉協会
理事研修会
十月二十五日社会福祉会館
文化祭
十月二十六日社会福祉会館
第三十九回東北盲人福祉大会
十一月八日(出)〜九日(出)
青森県浅虫温泉
「ホテル南都屋」

秋田県聴覚障害者協会
第十七回聴覚障害者リーダー研修会
十一月八日(出)〜九日(出)
本社市セミナーハウス
合同新年会
十一月二十五日(日)
秋田市(会場交渉中)

迅速な情報の提供と読みやすい紙面を心掛けて参りましたが、いつの年か思い通りになりません。皆様にも、少しでも読んでいただきお役に立てたらと心に念じながら、会報「身障秋田」をお届けします。(石川)

編集後記
迅速な情報の提供と読みやすい紙面を心掛けて参りましたが、いつの年か思い通りになりません。皆様にも、少しでも読んでいただきお役に立てたらと心に念じながら、会報「身障秋田」をお届けします。(石川)